

# サイエンスフィルムカフェ 2010 ～科学映像がおもしろい～



【自然ってふしぎだな (上映 自然が作る色の世界)】  
製作の時のエピソードを紹介する、小山さんと黄八丈の帯で着物姿の渡部さん



【だまし絵の秘密】  
錯覚コンテスト世界大会で第一位を獲得した「何でも吸引四方向滑り台」を鍵穴からみる参加者と杉原さん (右)



【「あなたもニュートン」親子で楽しむ科学映画の授業】  
長谷川さんと櫻井さんは学校現場でも科学映画を授業に取り入れている



【マインド・ラボで体験する知覚の不思議】  
入道さんと「マインド・ラボ」で盲点を体験する参加者

科学技術映像祭入選作品及び科学映像クリエイターなどの映像作品上映とトークショーや、ワークショップにより、自然・くらしの不思議・脅威、科学や理科の楽しさにふれる「サイエンスフィルムカフェ 2010」を開催しました。9月18日から20日の3連休のイベントでしたが「宇宙のひろば」(科学技術館4階)に約500人が参加しました。今回は、第1回国際科学映像祭のコアイベントの一つとして開催されました。

## ●科学技術映像作品の利活用として

科学技術映像祭は1960年に科学技術週間の中の行事として始まり、過去645作品が表彰されています。今年から科学技術映像祭の目的に作品の利活用の視点を加え、その一環として「サイエンスフィルムカフェ 2010 ～科学映像がおもしろい～」を開催し、映像作品の監督やディレクターに視聴者や参加者の視点で、演出・制作した時の感動や苦労を話していただきました。会場では各種の質疑応答が行われ、科学技術への興味や理解が深まったと思います。

## ●科学技術映像祭の入選作品とトークショー

### ①自然ってふしぎだな (上映 自然が作る色の世界)

自然の美しい色の世界を楽しみながら、色が見える理由や不思議を渡部 瑞穂さん (映像館) と小山 晃さん (ミミル山房) が紹介しました。

### ②オオタカと考える生物多様性 (上映 里山の猛きんオオタカ)

今年には生物多様性年です。オオタカやイヌワシなど多くの猛きん類の作品の第一人者である、岩崎 雅典さん (群像舎代表) に、自然と人間の共生についてお話いただきました。

### ③だまし絵の秘密 (上映 だまし絵立体)

立体化できる「だまし絵」があることを発見した、杉原 厚吉さん (明治大学) がそのからくりを解き明かし、最新作を紹介しました。

### ④生命のしくみがわかる (上映 時空キューブ生命 01 「呼吸」)

上映の前に、川村 智子さん (アイカム) は、科学映画は、どんな人たちが、どんなふうに乗っているのか、実際の制作現場をスライドショーで案内してくれました。

### ⑤偉人達の挑戦とのこしたのもの (上映 紀伊國屋評伝シリーズ 本多 静六 ほか)

林学者の本多静六は広葉樹による数百年以上も自然循環する明治神宮の森をつくり、人と自然との関係を問い続けた偉人です。その足跡をたどり、偉人の夢に思いをはせました。

## ●話題のプログラム

### ①スピードの不思議な世界にみんなを招待するよ!

(上映 魔法使いハーレイのスピードストーリー)

スピードを通じて広がる日常世界への好奇心から科学的な視点までを、子どもが楽しく体感できる従来にない“科学がテーマ”のアニメーションに会場満員の盛況となりました。

### ②金星探査機「あかつき」の冒険

「宵の明星」などと言われる金星。今年の5月に打ち上げられた金星探査機「あかつき」の任務について映像を交え、成田 伸一郎さん (JAXA) に解説していただきました。

## ●科学映像クリエイター・サイエンス映像最前線

国立天文台科学文化形成ユニットの科学映像クリエイター修士生の作品の紹介および、サイエンス映像教育現場の大学生の作品上映と指導教官の解説が行われました。

## ●ワークショップ

### ①「あなたもニュートン」親子で楽しむ科学映画の授業

中学教諭 長谷川 智子さんと高校教諭 桜井 順子さんの「力」についての理科の授業が、「力のおよぼしい (岩波映画)」の上映や偏光板、バネの実験を交えて行われました。

### ②マインド・ラボで体験する知覚の不思議

私たちの意識の世界は、実は脳が無意識に行う補完や推測、解釈で作られています。入道隆行さん (ウイルアライアンス) はインターネットで知覚について楽しみながら学べる「マインド・ラボ」を使い、盲点の体験や知覚の不思議について解説を行いました。

科学技術映像をトークショーやワークショップのイベントとすることで、幅広い年齢層が楽しみ、科学を身近に感じられるきっかけとなり、また作品の監督やディレクターからの話に大きな感銘を受けたようです。今回、本イベントを第1回国際科学映像祭のコアプログラムとして一緒に企画し、ご協力をいただいた方々に感謝申し上げます。

<振興事業部>